

製造工場

松阪興産株式会社

三雲工場

三重県松阪市小舟江町250

TEL (0598) 56-3136 FAX (0598) 56-3163



MATSUSAKA
KOSAN

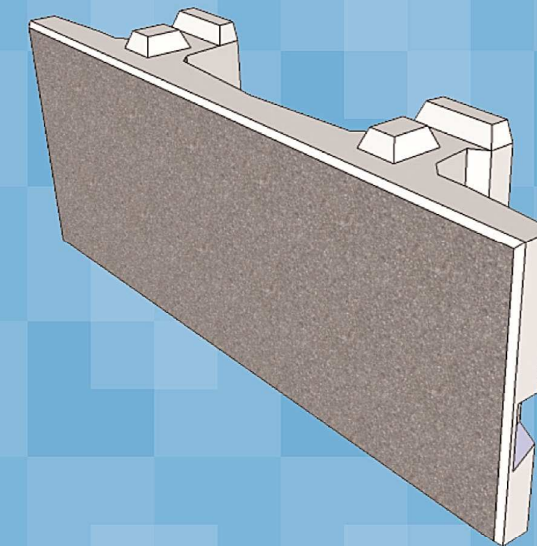
松阪興産株式会社

本 社	〒515-0005 三重県松阪市鎌田町253-5	TEL (0598) 51-0211	FAX (0598) 51-1151
本社営業課	〒515-0005 三重県松阪市鎌田町253-5	TEL (0598) 51-5515	FAX (0598) 51-1789
北勢営業所	〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町字石塚6722-118	TEL (059) 389-5660	FAX (059) 389-5661
津営業所	〒514-0815 三重県津市藤方659-1	TEL (059) 223-7751	FAX (059) 223-0240
伊勢営業所	〒516-1102 三重県伊勢市佐八町772-1	TEL (0596) 39-8686	FAX (0596) 39-0245
志摩営業所	〒517-0604 三重県志摩市大王町船越234-3	TEL (0599) 72-2388	FAX (0599) 72-2022
名古屋営業所	〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2丁目10-19 名古屋商工会議所ビル8F	TEL (052) 220-3531	FAX (052) 220-3532
和歌山営業所	〒649-7155 和歌山県伊都郡かつらぎ町島384-5	TEL (0736) 23-2171	FAX (0736) 23-2172
兵庫営業所	〒675-1368 兵庫県小野市住永町柳原1-27	TEL (0794) 62-7060	FAX (0794) 62-7170
滋賀営業所	〒529-0122 滋賀県長浜市酢551	TEL (0749) 73-3045	FAX (0749) 73-3647
大阪営業所	〒541-0057 大阪府大阪市中央区北久宝寺町2丁目6-7 DMC本町中央ビル7階	TEL (06) 6245-5601	FAX (06) 6245-5602
西東京営業所	〒194-0013 東京都町田市原町田1丁目6番24号 田島第二ビル7階703号室	TEL (042) 851-8061	FAX (042) 851-8062

ホームページ……<http://www.matsusaka-kosan.co.jp>

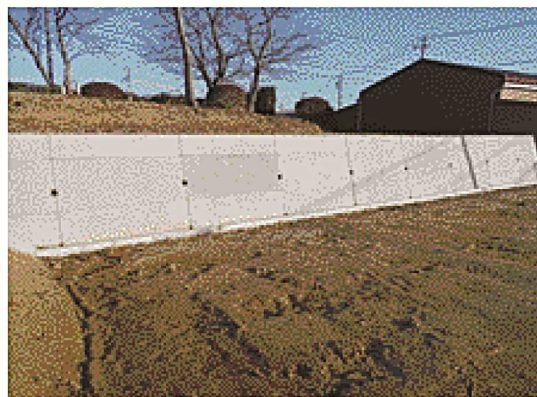
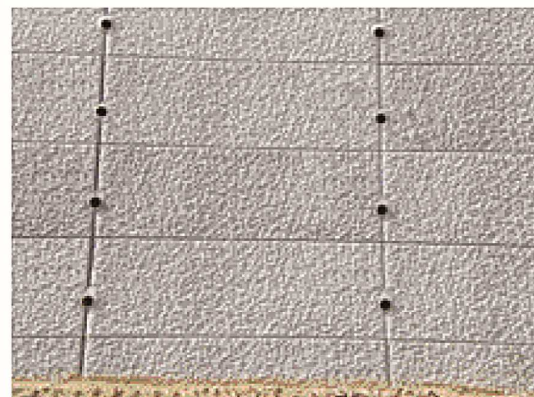
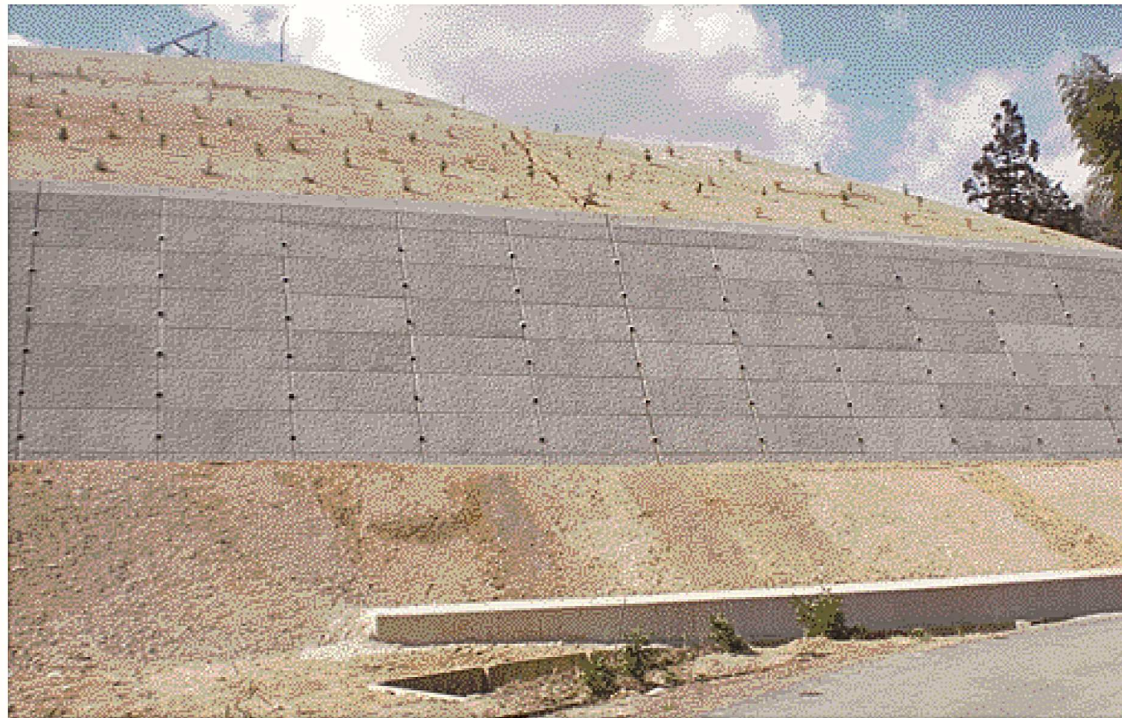
MK大型間知ブロック

平成28年6月改訂

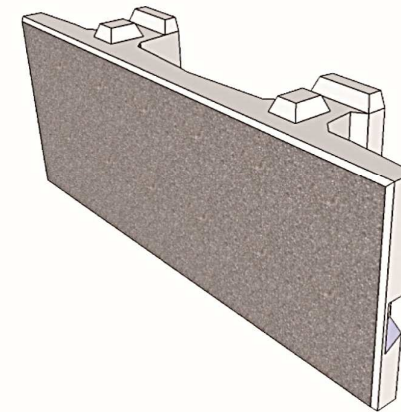


松阪興産株式会社

MK大型間知ブロック



MK大型間知ブロック



宅地造成工事や道路で 사용되는練積み擁壁については、間知ブロックと呼ばれるコンクリートブロックを積み重ねて施工を行いますが、

- ① 1日当たりの施工面積が少ない
 - ② 石積工の職人不足
 - ③ コンクリートブロックの製造工場の減少
- といった問題が挙げられます。これらの問題を解決するために、大型積みブロックのMK大型間知ブロックを開発しました。

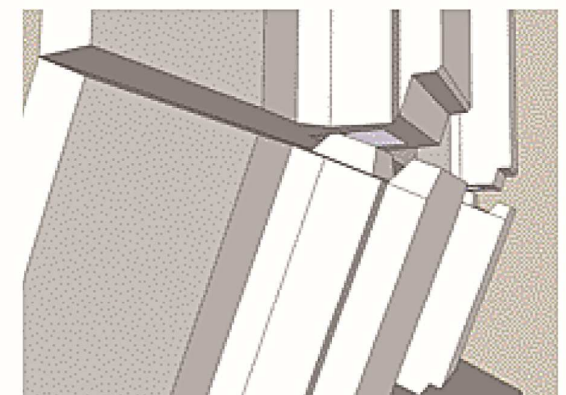
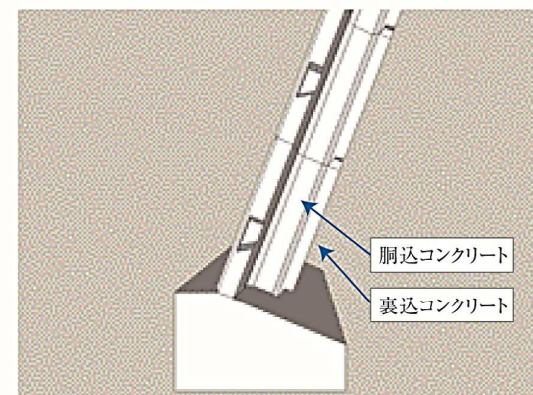
表面の形状面積は1.5㎡/個(2m×0.75m)、ブロック控長は35cm(化粧部除く)、圧縮強度は30N/mm²、製品重量は602kg(1㎡当り400kg)となっています。また、胴込・裏込コンクリートによって一体となる形状となっています。

基礎についてもプレキャスト化を進めており、MK大型間知ブロックは、工期短縮およびコスト削減に寄与する製品です。



■ 1.5倍の形状面積
通常の大型積みブロックは1㎡/個(1.5m×0.666m)ですが、MK大型間知ブロックは1.5㎡/個と1.5倍の形状面積になっています。

■ 表面模様
表面はハツリ模様となっており、落ち着いた風合いとなっています。



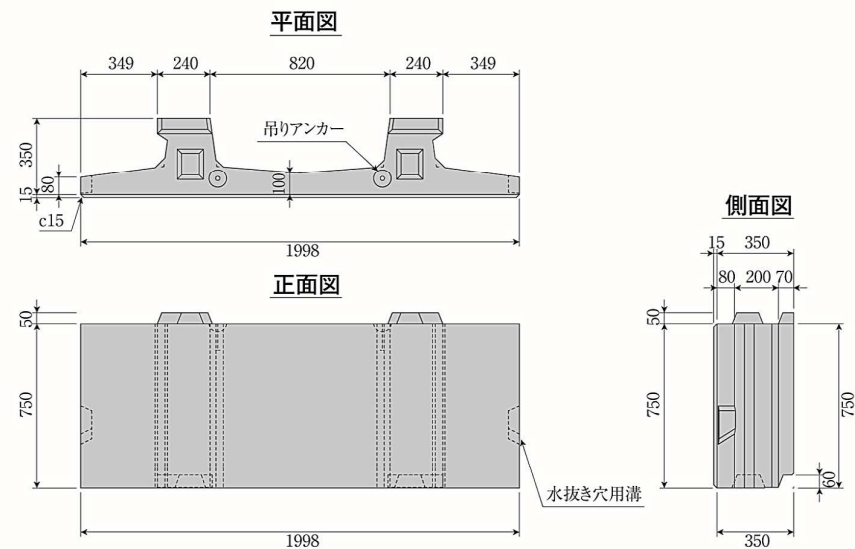
■ 一体化
間知ブロックと同様に、ブロックと胴込コンクリート、裏込コンクリートが一体化されるので、練積み擁壁として使用できます。また、胴込コンクリート量は0.19㎡(1㎡当たり)と間知ブロックと同じ量になっています。

■ 連結部分
連結部分は、ブロックの滑動防止のために凹凸形状を採用しました。

MK大型間知ブロック

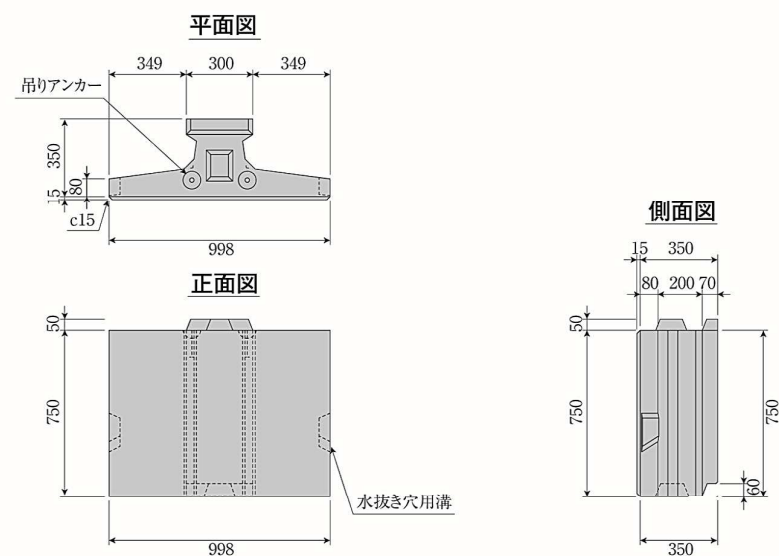
■350A

参考重量602kg



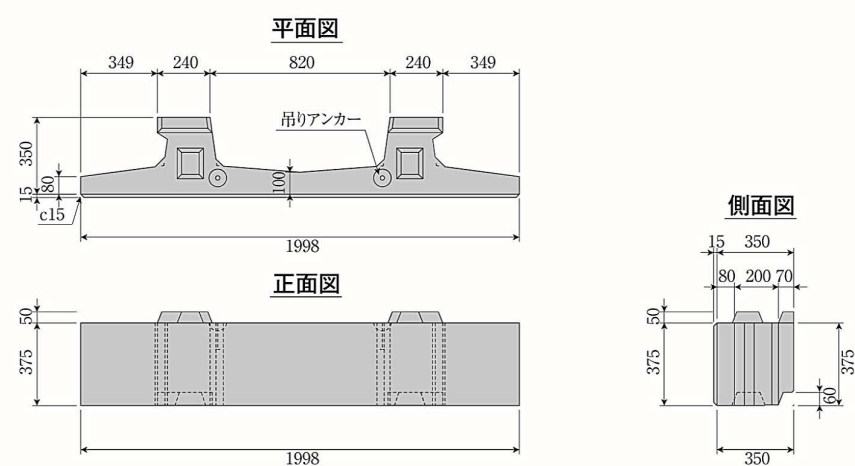
■350B

参考重量299kg



■350C

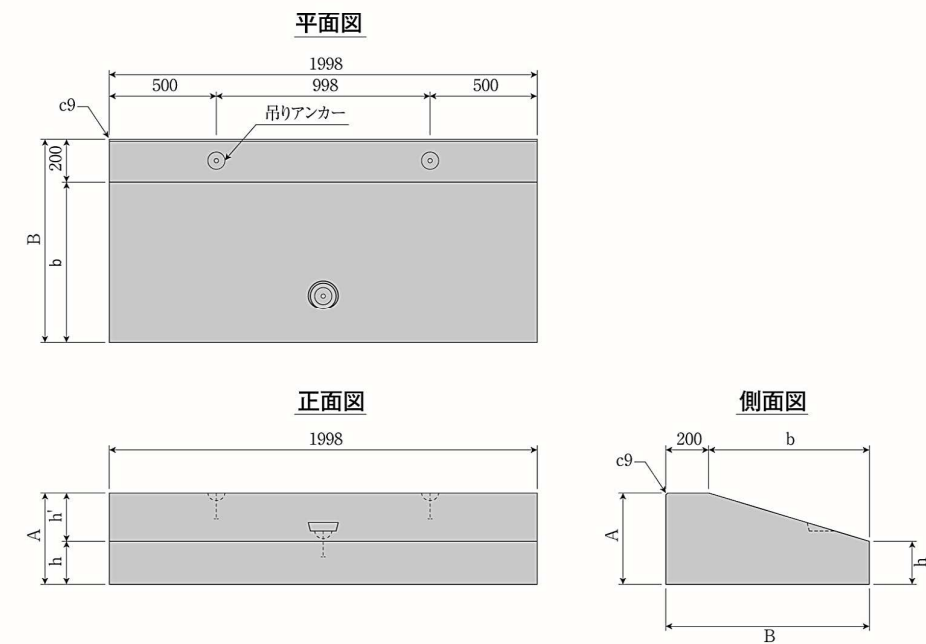
参考重量305kg



MK大型間知ブロック

■MK基礎ブロック

- ・宅地造成工事や調整池で使用される標準断面図の現場打基礎をそのままプレキャスト化
- ・基礎コンクリートを打設する作業が不要になるので、大幅な**工期短縮**に!
- ・通常の間知ブロック用の基礎としても使用可能

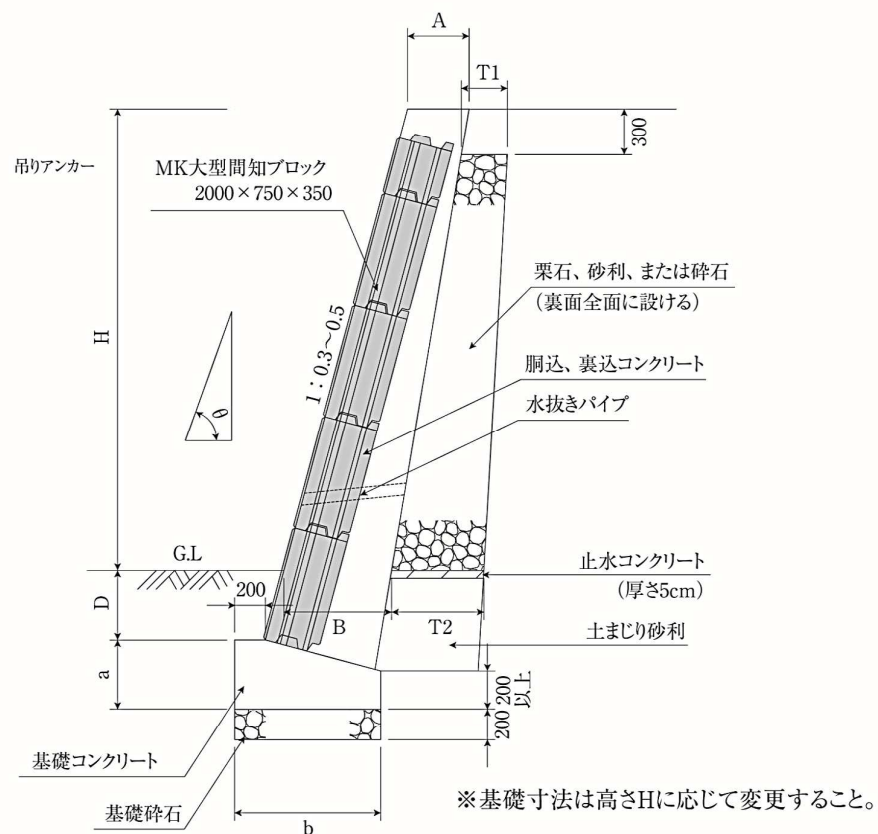


呼び名	ブロックの見掛高Hの区分	A	B	b	h	h'	参考重量(kg)
3分用A	$H \leq 2m$	400	700	500	250	150	1118
3分用B	$2m < H \leq 3m$	425	950	700	200	225	1467

第2種土質(真砂土、関東ローム、硬質粘土その他これらに類するもの)に使用

MK大型間知ブロック

■標準施工断面図



■注意事項

- ・擁壁の勾配(θ)、高さ(H)、上端の厚さ(A)、下端の厚さ(B)、裏込層厚さ(T1,T2)及び根入れ深さ(D)が、がけの土質に応じて宅地造成等規制法施行令第8条の基準に適合していることを確認してください。
- ・胴込、裏込コンクリートを用いて一体の擁壁とし、背面に栗石、割栗石、砂利また砕石(クラッシャーラン)で有効に裏込めをしてください。
- ・水抜穴に使用する材料は、内径75mm以上のコンクリートの圧力でつぶれないもの(VP管)とし、その配置は3mに1箇所割で可能な限り千鳥配置としてください。
- ・水抜穴の入口には、水抜穴から流出しない程度の大きさの砕石等(吸出し防止材を含む)を置き、砂利、砂、背面土が流出しないよう配慮してください。
- ・調整池に築造される擁壁の水抜穴については、逆流防止弁を設置してください。

■練積み擁壁高さに応じた必要地耐力(第2種土質想定)

呼び名	必要地耐力(kN/m)
H \leq 2m	75
2<H \leq 3m	75
3<H \leq 4m	100
4<H \leq 5m	125

- ・土質試験等により基礎設置地盤が必要地耐力を満足することを確認してください。
- ・必要地耐力を満足しない地盤の場合は、地盤の安定処理または置換によって築造した改良地盤に直接基礎を設けてください。

MK大型間知ブロック

■施工手順



- ①基礎コンクリート打設
木製型枠を設置して、基礎コンクリートを打設します。3分用の断面にはプレキャスト製品もご用意いたします。



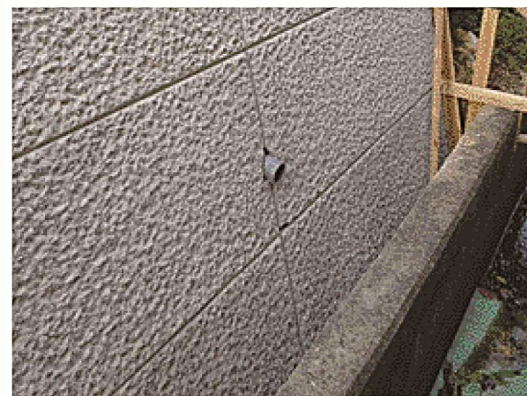
- ②ブロック調整
敷モルタルおよびクサビ等で高さの調整を行ないます。必要に応じて、滑動防止補強筋(D13程度)も挿入してください。



- ③ブロック据付
パイプサポートでブロックを固定してから、吊り金具をはずしてください。



- ④裏込用型枠の設置、コンクリート打設
裏込コンクリート用型枠の設置後、胴込・裏込コンクリートを打設します。



- ⑤調整
法勾配を調整しながらブロックを据付し、水抜きパイプを3mに1箇所設置してください。



- ⑥据付完了
所定の段数まで据付を行ない、高さが足りない部分や延長が足りない部分は、調整コンクリートを打設してください。